学校番号	４１５

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	図説家庭基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活との関わりを認識し、家庭や地域、社会に関心を持って積極的に取り組む。
・実習を取り入れ、知識・技術を実践的・体験的に習得する。
・授業プリントには書かれていないがポイントとなる語句や説明文をプリントに書き込んで、自分の授業プリントを作り上げる。
・学習を振り返って最も大切だと思うこと、もっと知りたいこと、実践してみたいことを振り返りシートに記入し、多様な考え方を学びながら自分の考えを持つ。

2　学習の到達目標

・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。
・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する、生活するうえで必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
実生活に結びつけて自分事として考え、自分自身の行動についての課題を見いだし、その解決をめざして思考を深める。

【学びに向かう力、人間性等】
家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい	家庭科を学ぶにあたって	・「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。			

		1. 生涯発達する人生 2. これからの人生をデザインする 3. 青年期を生きる 4. 生活を支える労働 5. 生活時間から見てくるもの 6. 共に生きる 7. 現代の家族 8. 家族･家庭を取り巻く社会環境の変化や課題 9. 家族に関する法律の理念と変化 10. 家族にかかわる法律	a: ・各ﾗｲﾌｽﾃｰｼﾞごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るﾗｲﾌｲﾍﾞﾝﾄと関連させて理解することができる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。 ・職業労働の雇用形態について理解し、職業には自己実現の要素もあることが理解できる。 ・家事労働の意義や大切さについて理解できる。 ・毎日がさまざまな生活時間から構成されていることを理解できる。 ・固定的性別役割分業やﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽなどについて理解できる。 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について理解している。 ・世帯構成や世帯真因のグラフから、時代と共に変化していることを理解できる。 ・家族に関する課題が生じており、それに対する社会的支援があることを理解できる。 ・家族の法律の理念および民法改正について理解できる。 ・家族に関する法律についての知識を身につけ、人の一生に関わる法律について理解しようとしている。 b:青年期の課題について理解し、自分の生活と結び付けて考え、その考えをまとめることができている。 c: 各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、自分の問題として捉え、具体的にまとめている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	人生をつくる	1. 人生をつくる 2. 家族･家庭をみつめる 3. これからの家庭生活と社会	a: 現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会のかかわりについて理解している。 b: 家族・家庭と社会との関わりについての課題を知り、その解決をめざして思考を深め、文章にまとめている。 c: 積極的に家族･家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。	定期考査	定期考査 人生スゴロク ワークシート	ワークシート 課題 (クラスルーム)
	衣生活をつくる	1. 衣服の機能と素材 2. 被服実習	a: 衣生活について正しい知識を身に付けている。 基礎縫いの技術を身に付け、作品を完成させることができる。 b: 衣服の機能や素材を理解し、実生活に関連させて考えることができている。 気候や場面等 TPO に応じた適切な選択ができる。 c: 被服材料や構成についての学習を実生活に関連させて、自らの課題として捉え、意欲的に授業に取り組めている。	定期考査 作品提出	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 観察 レポート 自己評価

2学期	子どもと共に育つ	1. 命を育む 2. 子どもの育つ力を知る 3. 子どもの生活 4. これからの保育環境	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。子どもの健やかな発達を支えるために必要な技術を身につけている。 b: 児童虐待や育児不安など現代の子育てに関する問題についての事例を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。子どもを取り巻く環境の変化と子どもを育てる意義、社会･地域・親の果たす役割について考え、まとめたり発表したりしている。 c: 保育に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割について考えようとしている。子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート ワークシート ワークシート 絵本製作 レポート	 ワークシート 観察 レポート 課題 (クラスルーム)

	食生活をつくる	1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 調理の基礎 4. これからの食生活	a: 食生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を、実習を通して身に付けている。食事と健康との関わりについて理解している。 b: 衛生面や栄養に関する学習を実生活に関連させて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。食生活をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。 c: 自分や家族の食生活に関心を持ち、食生活と健康のかかわりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。食生活の安全と環境について考えようとしている。	定期考査 調理実習	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート レポート 実習課題 自己評価
3学期	超高齢社会を共に生きる	1. 高齢者の心身の特徴 2. 高齢者の生活と福祉	a: 高齢者の心身の特徴を理解している。わが国の高齢化の状況を理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b: 高齢者が尊厳を保ち、人生を全うするためのケアの在り方について考え、まとめている。共生社会を実現するために、社会の一員として何ができるかを考えている。 c: 実践的、体験的な活動を通して、高齢者に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。	定期考査 高齢者体験	定期考査 レポート ワークシート	レポート 課題 (クラスルーム)

	経済生活を営む	1. 消費生活と意思決定 2. 購入と契約 3. 消費者の権利と責任 4. これからの経済生活	a: 生活における経済行為、消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて行動するために必要な基礎的な知識を身につけている。自立した消費者として、消費生活に関する情報を整理し、自らの消費行動に活かすことができる。 b:消費行動における意思決定について具体的な事例を踏まえて主体的に考え、適切に判断できる。消費行動について自身の生活と関連させて課題を見出し、消費生活を築けばいいか考え工夫している c: 生涯を見通した経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとしている。適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち、消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート ワークシート ワークシート	ワークシート 課題 (クラスルーム)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度